

グローバル時代の人材育成セミナー
～外国語教育で高度の思考力を養う～

実施報告書

2013年8月

公益財団法人国際文化フォーラム

1. 実施概要

(1)実施目的

1. グローバル時代の人材育成のためのソーシャルネットワーキングアプローチ (SNA) に対する理解を深める。
2. ポストコミュニケーションアプローチとしてのSNAによる21世紀型スキルを育成する外国語教育を考える。
3. 言語（中国語、韓国語、ロシア語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、日本語等）の枠を超えた外国語担当教師のネットワークを強化する。

(2)実施機関

主催： 公益財団法人国際文化フォーラム(TJF)

後援： 北海道新聞、北海道教育委員会

(3)日程

2013年7月7日（日）

第1部・講演 13:00～14:30（受付／12:30～）

第2部・ワークショップ 15:00～16:30

(4)会場

北海道立文学館講堂

(5)講師

當作靖彦(米国カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)

(6)応募状況と参加者

第1部の参加者は、39名。うち23名は第2部のワークショップにも参加しました。参加者の内訳は、以下のとおりです。

言語別		所属別	
英語	14	中高	18
日本語・国語	8	大学	12
中国語	7	その他	9
韓国語	4		
フランス語	1		
無	7		

*複数の言語を指導している場合は、各言語それぞれでカウント

(7)内容

○講演：「グローバル時代の人材育成と外国語教育」

21世紀は急速なテクノロジーの発達が社会や経済の在り様に変化を与え、これまでとは違う知識、能力、資質が必要になっていることが紹介されました。その上で、21世紀のグローバル化に対応できる人材に必要な2大能力は、コミュニケーションと協働作業によって「つながり」を作る能力と、21世紀が直面する環境、人口移動、気候変化、エネルギー、食糧などの複雑な問題を解決する「高度の思考力」であることが説明されました。そして、外国語のクラスはこのような能力を発達させる絶好の場であり、「つながる」力と「高度の思考能力」を含む「社会力」を養う外国語教育の新しいあり方（ソーシャルネットワークワーキングアプローチ（SNA））が示されました。さらに、グローバル時代に必要なイノベーターになれる人材育成とそのための環境作りが、重要な課題であることが述べられました。

○ワークショップ：「高度の思考力を養う読解活動」

現代は、80年代の3倍の情報量を扱う時代とされています。必要な情報を迅速に集め、情報を組み合わせたり、加工したりして新しい情報を生み出す能力を獲得することが重要とされています。ワークショップでは、外国語の授業で情報のリテラシーを、読解活動を通じて育成していくことが大切であることが指摘されました。読解活動とは、単に文法と語彙の知識を使って書かれた内容の意味を理解することではなく、テキストとの様々なインターアクションを通して意味を作り上げるプロセスで、効果的に読解を行えば、高度の思考力を高めることができることが解説されました。

その後、実際の広告（チラシ）を使って、準備、概要把握、詳細理解、振り返りの活動を体験しながら、高度の思考力を高める読解活動とはどのようなものかを考えました。

2. 成果

TJF は、本年度より 2012 年に発行した『外国語学習のめやす』の背景理論である SNA を、提唱者である當作教授の講演を通じて、外国語教育のみならず、広く教育関係者と共有する取り組みをはじめました。今回はテーマを「グローバル時代の人材育成」とし、一般向けの講演を第1部に行い、第2部は、読解をテーマとしたワークショップとしました。結果、外国語だけでなく国語の先生や、グローバル時代の課題に関心のある一般の方にもご参加いただくことができました。

アンケートには「そうそう！と思うところもあり、そのほかにもついついいうなずいてしまう部分もありました。変化するスピードに追いつくのは今の時代、とても難しいですが少しでも追いつけるようにしたいです」、「外国語教育に携わるものではなりませんが、アイデアをいろいろ使えそうだと思います」、「国語科の高校教師をしています、今後どのように実践していけるかを考えさせられました。21世紀に生きる子どもたちに生きていく力を身につけさせるために、どのようなことができるか、これからもう一度考え、取り組みたいと思います」などと書かれており、参加者それぞれにとって今回のセミナーが、グローバル時代の「社会力」を養うための新しい動機付けとなりました。

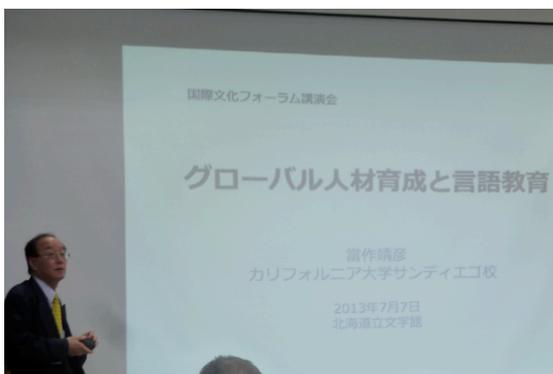
また、これまで主に首都圏で実施してきたセミナーを、はじめて札幌で実施することで、これまで参加できなかった方にお話を聞いていただき、漠然とした「グローバル化」についての具体的なイメージと対策案をもっていただくことができました。

一部の専門家の間だけで、高い危機意識をもってとらえられている「グローバル化」が抱える問題や課題を広く一般に共有し、そのために何をすべきかを考える一歩を踏み出せたことが、今回の大きな成果であったと思います。これからも、T J Fが蓄積してきた知見を広く共有する取り組みを進め、外国語教育を中心として21世紀を生きぬく人材育成に貢献していきたいと考えています。

ここに改めて本プログラムに対するご支援に対して心より感謝申し上げます。

セミナーの風景

第1部 講演



第2部 ワークショップ



以上